

### ■英国：家具のIKEA、需要集約プログラムを提供し参加者募集

2018年2月20日の現地報道によると、スウェーデンの家具チェーンのIKEAが、英国内で需要集約によるスイッチング勸奨を実施している。一般的に「集団的スイッチング (Collective Switching)」と呼ばれる本活動は、オピニオンリーダーやコミュニティリーダーを中心にスイッチングを希望する需要家を募るもので、その集約されたバーゲニングパワーで小売事業者からより有利な供給条件を引き出そうとするもの。今回「Big Clean Switch」という活動のもと需要家を募り、100%再エネ電力による電力供給をうたっている。2018年3月6日に今回の集団的スイッチングで電力供給を行う小売事業者が選定され、その条件に対してスイッチングを希望する需要家は、3月26日までに意思表示を行うこととなっている。IKEAは自らの消費電力を再エネで賄うことを掲げたり、自家発電を推し進めるとしている。また、IKEAは顧客にも再エネの利用を呼び掛けており、2017年8月には英国で住宅用太陽光設備と蓄電池を組み合わせた商品の発売を開始することが、また、豪州では2018年2月16日に太陽光パネルを「原価相当額で」販売する計画が報じられている。